

今 新田川では 新桜井橋(しんさくらいぼし)



河川の改良工
をしている重機が
動いてました ▶



◀橋の上に車両が
1台もなくなった
一瞬を見計らって
撮りました。

川沿いの土手を歩いていると、
ポツンと四阿(あずまや)が。
椅子もセットでいい感じの
サイズ感(*^-^*) ▶

ここは国道6号線と新田川が交わる
下高平に架かる新桜井橋。普段から
多くの車両が行き交う場所です。
川の流れは穏やかで、雪こそ降って
いないものの、寒風吹き荒ぶ土手の
草木はすっかり冬景色ですね。
奥に見える火力発電所の煙が、ほぼ
真横になびいており、耳が痛くなる
ような寒さでした。(((>_<)))
雪景色が撮れなくて、ちょっと残念。



大工さん 今日とはどんなお仕事?



既存の和室の天井、
壁、床を
壊していきます!



↑昇降用はしご。
すっきりした
見た目ですね。

今回もH様邸のお部屋改修工事です!
12帖の和室を6帖+6帖の洋室にして、さらにロフトを新設します。
ロフトって、なんだかワクワクしますよね…?(*´ω`*)
今回はクロスを貼る前の、途中経過の様子をお伝えします。



《年始のごあいさつ》



謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素より格別
のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
昨年は、多くのお客様に新しい暮らしのお手伝いを
させて頂き、スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱい
です。お客様の夢を形にするために、設計から施工、
アフターフォローまで全力で取り組んできた一年
でした。
本年も『安心して暮らせる住まいづくり』をモットーに、
地域の皆さまに愛される『住まいの町医者』を目指して
まいります。また、環境に配慮した住宅づくりや、防犯・
防災への取り組み、新しい省エネ技術の活用にも
引き続き力を入れてまいります。
皆さまのご多幸と繁栄を心よりお祈り申し上げますと
ともに、本年も変わらぬご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



抽選会の番号発表!

前号(12月号)の新田川通信の封筒に
下記の番号がある当選者の方は、
お電話、LINE、メールにて
佐藤建業までご連絡ください。
お届け時に封筒の番号を確認させて
いただき、景品をお渡しいたします。

【当選番号】

3、14、36、41、62、76、82、87、96、
100、117、121、133、152、180、182、
184、190、210、219、234、247、255、
257、279、298、308、311、356、381、
385、393、438、448、454、512

■お電話:0244-22-7619

■LINE:こちらのQRから→

■メール:info@sato-kengyo.jp

ご連絡お待ち
しています!



《大工さんのアイテム》 木材加工機械

現場で使用する木材を加工する機械。製材された木材も、下地材はそのまま使えますが、表に出てくる柱、敷居などはそうはいきません。この機械で、木材のサイズや反りを調整したり、表面を仕上げたりします。今回は、佐藤建業の作業場にある機械を紹介します。



▲カナ前、カナ後の写真。表面がこんなに違ってきます。つるつるになった触り心地を、紙面では伝えられないのが悲しいところ…。会社には他にも木材をカットする機械などありますが、載せきれないので、他の機械はまたの機会に。。。



▲『直面2面カナ』、上側と下側を自動でカナをかけてくれる機械です。2台あります。

▲左が『プレーナー（自動カナナ盤）』、仕上げを行います。右が『溝突き機』、溝をつけてくれる機械です。

こんな工事ができますよ～



押し入れをクローゼットに変更する工事です。ふすまや、押し入れの中の床が痛んでしまった際に、修繕だけする事も可能ですが、中段の棚を外し、ハンガーパイプを取り付け、扉も4枚折れ戸にできます。(引き戸も可)機会があればご検討ください(´ω`)/

『換気と花粉の季節がやってきます』

寒さが和らいでくると、換気のために窓を開けるようになります。同時に、花粉や黄砂が飛び交うため、対策も必要ですね。換気しないわけにはいかないのですが、窓を小さく開けて、網戸にしておくのですが、網戸が傷んでいると良くありません。ご自分で貼替えが大変な場合、またはサッシごと交換が必要な場合は、佐藤建業でも網戸貼替えや交換ができますので、お気軽にご連絡ください。



通常のサッシタイプの網戸の他にも、ロールタイプの網戸もあります。



↑こちらはサンルーム。物干し部屋として使用すれば衣服に花粉がつくことなく、お部屋からそのまま干すことができます。

はる ひ かん 春のお彼岸

(今年は3月17日～3月23日)

お彼岸に食べる「ぼたもち」と「おはぎ」
春のお彼岸に食べるものを「ぼたもち」と呼び、秋のお彼岸に食べるものを「おはぎ」と呼びます。春分の日にはお墓参りをして、仏壇にぼたもちをお供えしてご先祖様を供養します。

ぼたもちの由来は、春に咲く「牡丹の花」。牡丹の花の形が、あんこに包まれた餅と似ているから。(おはぎは「菖の花」から)

では、ぼたもちとおはぎは何が違うのか…？

◆ぼたもち：こしあん ◆おはぎ：つぶあん



ですが…売られているものは呼び方が異なるだけだったり。

◆なぜ、お彼岸にぼたもち（おはぎ）を食べるのか？
諸説ありますが、あんこの原料である小豆（あずき）の赤い色が「邪気払い」の力を持つ縁起物として親しまれてきたからだと言われています。

ご先祖様に感謝して、おいしくいただきましょう(*^-^*)

◆「半殺し」「みなごろし」
物騒な呼び方ですが、もち米を半分程度、粒が残るように潰したものを「半殺し」、完全に潰したものを「みなごろし」と呼びます。好みにもよりますが、ぼたもち（おはぎ）は半殺しで作ります。



小豆ではありませんが、きなこもちやずんだもちを食べたりもしますね。ゴマや納豆もおいしいですね。



…ところで、お餅は喉に詰まりやすいので、なるべく小さく切って、ゆっくりと食べましょう(;´Д`)